参考様式第１

承諾書

|  |  |
| --- | --- |
| 道路の敷地の地名地番 |  |
| 別添現況平面図に示す道について、建築基準法第42条第1項第5号の規定による道路の位置の指定を受けることに対して、下記の権利を有する者として、異議なく承諾します。　なお、第三者に下記の権利を移転する場合は、本承諾書の内容を譲受人に対し継承します。申請者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　様 | 申請者住所・氏名 |
| 　 |
| 地番 | 地目 | 種目 | 権利の内容 | 道の基準適合管理者 | 権利を有する者の住所・氏名 | 印 | 承諾の年月日 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 転写者住所・氏名 | 　 |

注意

1　法務局備え付けの台帳を転写し、図面余白に転写法務局名、転写年月日及び上記欄に転写者住所・氏名を記載するものとする。

2　承諾を得る範囲は、道路となる土地の所有者及びその土地にある建築物若しくは工作物に関して権利を有する者並びに道路に接する土地の所有者とする。ただし、道路の一部又は全部を廃止する場合は、道路に接していた土地について、所有者以外の権利者の承諾も必要とする。

3　種目欄には、土地、住宅、広告塔等の権利の対象となる物件名を記入するとともに、同一物件に2以上の権利が設定されている場合は、権利別に記入する。

4　権利の内容欄は、所有権、永小作権、地上権、賃借権、質権、抵当権、先取特権等の権利の別を記入する。

5　図面の大きさは、日本産業規格A列4又はA列3とする。

6　「道の基準適合管理者」とは、建築基準法施行規則第9条に規定する申請に係る道を建築基準法施行令第144条の4第1項及び第2項に規定する基準に適合するように管理する者をいう。この承諾書に記載の権利者が、同規則の内容について承諾する場合は、この承諾書（参考様式第1）を用いることとし、道の基準適合管理者の欄に○印を記入する。

7　道の基準適合管理者がこの承諾書の権利者と異なる場合は　参考様式第2を用いることができる。